

平成30年度の管理運営状況（東京体育館）

指定管理者：公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ

大項目	中項目	確認項目	特にアピールしたい点(具体的に)、改善点等																																							
管理状況	適切な管理の履行	(7) 施設の提供について	<p>○平成30年度は、東京2020大会に向けた改修工事のため7月から休館となることにより、開館期間は4月～6月の3か月間であった。</p> <p>○「体操ワールドカップ東京大会2018」や「HANDBALL JAPAN CUP 2018」など、国際大会等の大規模大会を積極的に誘致した。また、選手が最高のパフォーマンスを発揮するとともに、観客が安全・安心かつ快適に観覧できるよう、主催者との緊密な連携体制を構築し、円滑かつ効果的な大会運営に全面的に協力した。</p> <p>○施設貸し出しの空き枠を利用し、公共性を担保しつつ、コンサート等のイベントを誘致し、収益の確保を図った。こうした収益は、利用者サービスの向上や安全・安心の確保に向けた取り組み等に充てるなど、利用者還元していく。</p> <p>○7月からの工事休館への対応や東京2020大会への準備について、東京都や組織委員会等と連携しながら的確に進めた。</p> <p>○休館中も引き続き警備や維持管理業務を適切に行うとともに、改修工事設計業者や施工業者との工事調整を綿密に行い、改修工事に全面的に協力した。</p> <p>○大会後の施設利用について、より利用しやすい施設とするよう、コンソーシアム各社や委託業者で定期的に検討・打合せを行った。</p>																																							
	法令等の遵守	(7) 情報漏えい事故への対応	<p>○東京2020大会会場となっていることから、サイバーセキュリティ対策が必須であるため、情報システムやネットワーク等に対する各種セキュリティ強化策を実施した。</p> <p>○警視庁や内閣官房等が主催する研修等への参加や警視庁との連絡体制を確立した。</p>																																							
	安全性の確保	(3) 防災への配慮・緊急時対策	<p>○6月に自衛消防訓練を行った。コンソーシアム各社及び館内関係団体が参加し、災害発生時の自衛消防組織の行動要領や各種消防機器の操作を確認した。また、消防隊員の指導のもと、自衛消防活動に必要な知識及び技能の習得を図った。</p> <p>○7月からの休館後も管理権原者、防火管理者として休館中の防災管理を行い、改修工事開始後は、現場の工事施工業者と適宜情報交換・連絡を行うなど、連携した防災管理を実施し、1年間無事故であった。</p>																																							
事業効果	利用の状況	(1) 利用状況	<p>○個人利用者数は、平成24年度の大規模改修に伴う長期休館のため大幅に落ち込んだが、PR等の努力を重ねた結果、休館前の水準に回復しつつあった。</p> <p>○昨年度の同期間（4月～6月）と比較すると、約1%の増加（29年度は、173,437人）となった。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H18年度</th> <th>H19年度</th> <th>H20年度</th> <th>H21年度</th> <th>H22年度</th> <th>H23年度</th> <th>H24年度</th> <th>H25年度</th> <th>H26年度</th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個人利用者数(人)</td> <td>525,764</td> <td>598,746</td> <td>653,606</td> <td>683,147</td> <td>679,689</td> <td>683,112</td> <td>88,470</td> <td>493,712</td> <td>623,300</td> <td>667,934</td> <td>679,297</td> <td>677,725</td> <td>175,121</td> </tr> </tbody> </table>		H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	個人利用者数(人)	525,764	598,746	653,606	683,147	679,689	683,112	88,470	493,712	623,300	667,934	679,297	677,725	175,121											
				H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度																										
	個人利用者数(人)	525,764	598,746	653,606	683,147	679,689	683,112	88,470	493,712	623,300	667,934	679,297	677,725	175,121																												
<p>○団体利用施設は、18年度以降ほぼ100%に近い稼働率となっており、30年度は100%であった。（サブアリーナは4月1日から休館）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H18年度</th> <th>H19年度</th> <th>H20年度</th> <th>H21年度</th> <th>H22年度</th> <th>H23年度</th> <th>H24年度</th> <th>H25年度</th> <th>H26年度</th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>メインアリーナ稼働率(%)</td> <td>99.5</td> <td>99.6</td> <td>98.9</td> <td>99.7</td> <td>99.2</td> <td>99.6</td> <td>99.2</td> <td>99.4</td> <td>99.7</td> <td>99.7</td> <td>99.7</td> <td>99.8%</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>サブアリーナ稼働率(%)</td> <td>98.1</td> <td>98.1</td> <td>99.3</td> <td>99.2</td> <td>99.6</td> <td>99.4</td> <td>100.0</td> <td>99.5</td> <td>99.7</td> <td>99.9</td> <td>99.1</td> <td>99.9%</td> <td>休館</td> </tr> </tbody> </table>		H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	メインアリーナ稼働率(%)	99.5	99.6	98.9	99.7	99.2	99.6	99.2	99.4	99.7	99.7	99.7	99.8%	100.0%	サブアリーナ稼働率(%)	98.1	98.1	99.3	99.2	99.6	99.4	100.0	99.5	99.7	99.9	99.1	99.9%	休館
	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度																													
メインアリーナ稼働率(%)	99.5	99.6	98.9	99.7	99.2	99.6	99.2	99.4	99.7	99.7	99.7	99.8%	100.0%																													
サブアリーナ稼働率(%)	98.1	98.1	99.3	99.2	99.6	99.4	100.0	99.5	99.7	99.9	99.1	99.9%	休館																													
事業の取組み	(1) スポーツ振興事業の実施状況	<p>○子供から高齢者まで、また障害の有無や体力の程度に関わらず、誰もがライフステージに応じてスポーツに親しみ、楽しむための取組や、アスリートの育成に寄与するための支援事業や指導者育成事業など、対象とする世代のバランス等も考慮し、全12事業を実施した。</p>																																								
	(6) 利用者の満足度	<p>○利用者満足度調査（H30年度は、団体利用、スポーツ振興事業及び自主事業が対象）では満足度95.8%の高い評価を得ることができた。</p>																																								